

資料 | 2

セグメント情報

※ 2026年4月1日付にて一部セグメントの区分方法の変更に伴い、前期の公表数値を変更しております

業績サマリー

	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
(億円)			
売上総利益	152	172	+20
販管費	▲ 146	▲ 169	▲23
持分法投資損益	2	6	+4
当期純利益	▲ 4	▲ 3	+1
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	3,485	3,706	+221

(当期純利益)

前年同期比増減要因

- 前期における赤字事業からの撤退効果
- 中南米自動車販売事業は着実に進捗

27/3期の見方
見通し 50億円 進捗率 -%

- 北米や中南米での事業は概ね見通し通りに進捗
- 豪州中古車販売事業の立て直しを中心に構造改革に注力

〔既存事業の立て直しの状況〕
(豪州中古車販売事業)

- 中東情勢による燃料価格上昇、金利上昇による消費者の購買力低下等により、中古車販売台数が落ち込む
- 立て直しに取り組む販売拠点における利益率は改善傾向
引き続き、オペレーション改善に取り組む

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	▲ 53億円	50億円	… 150億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	4.1%	8.0%	… 8.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

中南米自動車販売事業 利益目標 中計 2026 50億円 Next Stage 100億円

- > 勝ち筋

周辺地域に根差し培った人材とノウハウをテコに成長力を持つニッチ市場で、地域ドミナントの構築に向けリソースを集中投下し、広範なバリューチェーンで優位性を築く
- > 取組状況

 - プエルトリコ、ブラジル、アルゼンチン、ベネズエラでの事業経営を通じて獲得した知見・経験・人材を活用し、パナマでKia、Mazda、現代を中心とした自動車販売事業を展開
 - 知見のある中南米地域でのカタマリ構築の取り組みとして、コスタリカのマルチディストリビューターへ出資を実行

主要事業の状況（実力値ベース）

(億円)	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	主な展開国	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計			
自動車販売事業（地域別）													
-日本・アジア地域	▲ 3	▲ 2	▲ 1	▲ 4	▲ 10	1	—	—	—	1	+4	日本、フィリピン、パキスタン 等	
-大洋州地域	▲ 4	▲ 3	▲ 5	▲ 5	▲ 17	▲ 6	—	—	—	▲ 6	▲2	豪州 等	
-北米地域	6	3	9	8	26	6	—	—	—	6	0	米国、プエルトリコ 等	
-中南米地域	7	16	15	15	53	8	—	—	—	8	+1	パナマ、ブラジル、アルゼンチン 等	
-欧州地域	▲ 3	0	0	1	▲ 2	▲ 1	—	—	—	▲ 1	+2	ノルウェー、ウクライナ 等	
（一過性損益）	0	15	0	▲ 70	▲ 55	0	—	—	—	0	0		
本部 当期純利益	▲ 4	12	6	▲ 67	▲ 53	▲ 3	—	—	—	▲ 3	+1		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの

業績サマリー

	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
(億円)			
売上総利益	69	59	▲10
販管費	▲ 46	▲ 50	▲4
持分法投資損益	14	33	+19
当期純利益	31	34	+3
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	4,539	4,738	+199

(当期純利益)

前年同期比増減要因

- 豪州公共交通事業の新規連結や、海外工業団地事業での引き渡し面積の増加等により増益

27/3期の見方
見通し 190億円 進捗率 18%

- 概ね見通し通り
- 豪州公共交通事業やJIAへの新規投資からの利益貢献
- 航空機関連取引や防衛関連取引等の伸長を見込む

双日らしい成長ストーリーの実現

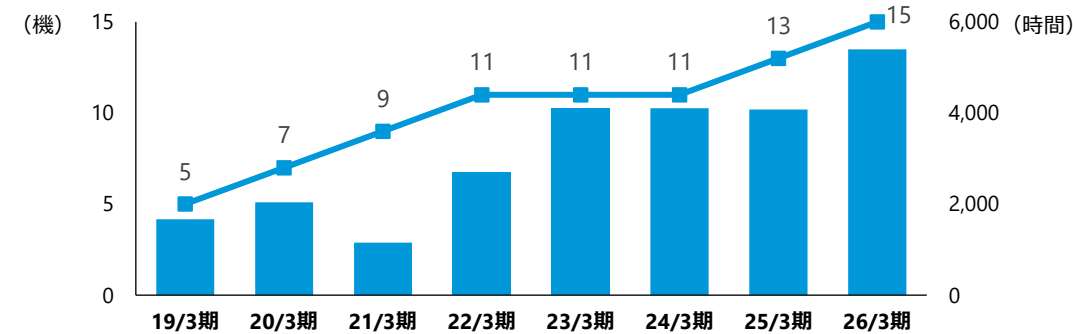
	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	155億円	190億円	250億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	6.2%	6.0%	8.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

航空関連事業

- > 勝ち筋
- ワールドクラスのパートナー群との多岐に渡る事業基盤に高度な専門人材を掛け合わせ事業を展開。変化する航空市場の先を読み、次なる収益機会を創出し続ける
- > 取組状況
- 代理店ビジネスを起点に、アセットビジネス、更にオペレーションビジネスへ事業展開
 - 防衛関連の需要の取り込み
 - ビジネスジェット共同保有プロジェクトの機体数拡大

ビジネスジェット事業 管理機体数及び総フライト時間推移



主要事業の状況（実力値ベース）

	取込 比率	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	事業内容	決算期
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計			
(億円)														
輸送機アセマネ事業	－	12	12	10	17	51	8	－	－	－	8	▲4	航空機代理店事業、 航空機リース事業、船舶事業 等	－
ビジネスジェット事業	－	2	7	8	3	20	1	－	－	－	1	▲1	機体売買支援、運航管理、 チャーター、 ビジネスジェット共同保有事業	－
豪州・アジア鉄道事業	－	▲ 1	1	▲ 1	0	▲ 1	7	－	－	－	7	+8	アジア交通EPC（インド・インドネシア）、 豪州公共交通事業	－
産業都市インフラ事業														
-PT. Puradelta Lestari Tbk	25%	8	2	2	6	18	19	－	－	－	19	+11	住宅・工業・商業団地の 総合都市インフラ開発、運営 （インドネシア）	12月
双日エアロスペース	100%	5	10	5	11	31	7	－	－	－	7	+2	航空・防衛産業関連機器の 輸出入・販売	3月
（一過性損益）		0	10	0	▲ 5	5	0	－	－	－	0	0		
本部 当期純利益		31	74	19	31	155	34	－	－	－	34	+3		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は26/6末時点のものを記載

業績サマリー

	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
(億円)			
売上総利益	120	202	+82
販管費	▲ 121	▲ 184	▲ 63
持分法投資損益	45	56	+11
当期純利益	44	69	+25
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	7,386	7,578	+192

(当期純利益)

前年同期比増減要因

- 豪州インフラ開発事業の新規連結
- 米国省エネ関連事業の取引増加

27/3期の見方
見通し 280億円 進捗率 25%

- 米国省エネ関連事業の伸長、豪州インフラ開発事業からの堅調な利益貢献を見込む

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	323億円	280億円	500億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	5.7%	4.0%	6.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

エネルギーソリューション事業	利益目標	中計 2026	100億円	Next Stage	200億円
----------------	------	---------	-------	------------	-------

- > 勝ち筋
- 電力・インフラ事業で培った知見・人材を活かし、米豪の省エネやデータセンター関連サービスへシフトし、新たな収益機会を獲得。
ロールアップ投資で機能・顧客基盤を拡張し、事業規模を拡大
- > 取組状況
- 高まるエネルギー需要と共に、省エネルギーのニーズは着実に伸長。エネルギーソリューション事業確立に向けた強固な基盤構築を推進し、豪州でも同様に展開
 - 米国においてボルトオン投資を実行し、電気工事・制御システム系サービスの機能を強化

豪州インフラ開発事業	利益目標	中計 2026	50億円	Next Stage	100億円
------------	------	---------	------	------------	-------

- > 勝ち筋
- 豪州PPP領域において、高度専門人材による質の高い、効率的なインフラ事業の組成、価値の提供、安定した事業運営を実現し、その実績と信頼により更なる事業機会を獲得する。豪州外への展開により事業基盤を拡張し、成長を加速
- > 取組状況
- 26/3期中より、Capella社の連結取込を開始。豪州国内の複数のPPP案件の取組みを検討中。これに加えて、海外事業展開についても協議中

主要事業の状況（実力値ベース）

	取込 比率	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	事業内容	決算期	
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計				
(億円)															
インフラ・PPP事業															
-Sojitz Capella Corporation B.V.	95.5%	—	—	3	23	26	13	—	—	—	13	+13	インフラ開発、財務アドバイザー、 資産管理業務（豪州）	12月	
-Sojitz Hospital PPP Investment B.V.	100%	5	4	5	11	25	5	—	—	—	5	0	病院施設運営事業への投融資 （トルコ）	12月	
エネルギーソリューション事業															
-省エネ関連事業	—	11	23	18	24	76	24	—	—	—	24	+13	海外省エネ関連事業 （北米、豪州）	—	
-電力小売事業	—	0	3	2	4	9	5	—	—	—	5	+5	電力小売事業 （スペイン、アイルランド、豪州）	—	
-再生可能エネルギー事業	—	27	8	▲ 18	12	29	29	—	—	—	29	+2	国内外再生可能エネルギー事業	—	
-火力発電事業	—	▲ 3	3	7	▲ 2	5	6	—	—	—	6	+9	米国、中東 等	—	
双日マシナリー	100%	4	14	11	15	44	6	—	—	—	6	+2	一般産業機械類の輸出入・販売	3月	
エルエヌジー・ジャパン	50%	29	10	14	26	79	13	—	—	—	13	▲16	LNG事業及び関連投融資	3月	
（一過性損益）		0	0	120	20	140	0	—	—	—	0	0			
本部 当期純利益		44	35	134	110	323	69	—	—	—	69	+25			

※ 再生可能エネルギー事業、火力発電事業、省エネ関連事業は、関連の主要事業会社の損益合算値を記載
※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益等から一過性損益を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は26/6末時点のものを記載

業績サマリー

	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
(億円)			
売上総利益	16	36	+20
販管費	▲ 33	▲ 36	▲ 3
持分法投資損益	38	32	▲ 6
当期純利益	31	21	▲ 10
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	4,850	4,820	▲ 30

(当期純利益)

前年同期比増減要因

- 原料炭市況は上昇したものの、生産効率の低下により減益

〔原料炭市況〕
前年同期比 +\$54/t
25/6期 \$184/t ⇒ 26/6期 \$238/t

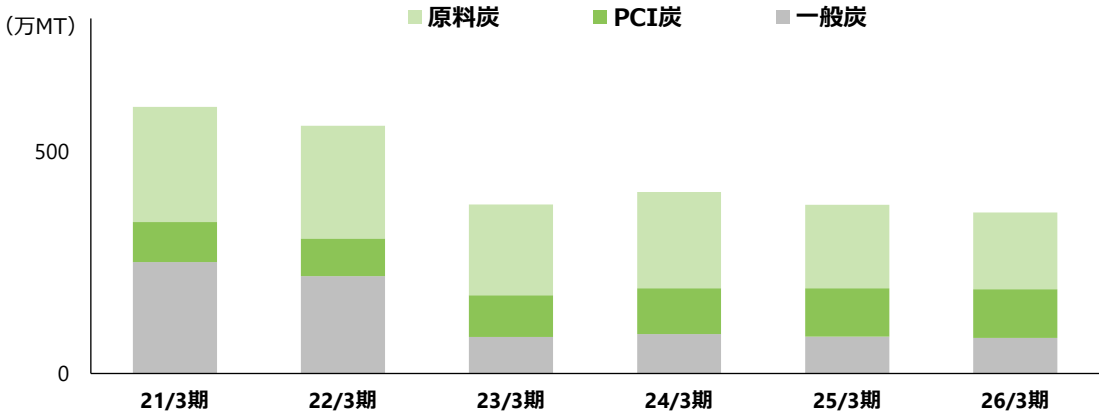
27/3期の見方
見通し 220億円 進捗率 10%

- 不振事業を含む資産入替を見込む

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	38億円	220億円	350億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	7.7%	15.0%	12.0%

石炭販売量推移



主要事業の状況（実力値ベース）

	取込 比率	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	事業内容	決算期
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計			
（億円）														
Sojitz Development Pty. Ltd.	100%	▲ 8	▲ 2	▲ 4	1	▲ 13	▲ 4	—	—	—	▲ 4	+4	石炭鉱山への投資（豪州）	3月
メタルワン	40%	24	26	31	28	109	28	—	—	—	28	+4	鉄鋼関連商品の輸出入、 外国間及び国内販売等（日本）	3月
上流権益	—	9	21	23	6	59	0	—	—	—	0	▲9	アルミナの製造、アルミナ生産会社への投資 （豪州） ニオブ生産会社への投資・管理（ブラジル）等	—
（一過性損益）		0	0	0	▲ 130	▲ 130	▲ 5	—	—	—	▲ 5	▲5		
本部 当期純利益		31	38	48	▲ 79	38	21	—	—	—	21	▲10		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は26/6末時点のものを記載

業績サマリー

	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
(億円)			
売上総利益	169	307	+138
販管費	▲ 94	▲ 119	▲25
持分法投資損益	0	0	0
当期純利益	58	111	+53
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	3,975	4,351	+376

(当期純利益)

前年同期比増減要因

- メタノール価格の上昇による影響や日本エイアンドエルの利益貢献、国内外トレードの堅調な推移等により大幅増益

27/3期の見方
見通し 220億円 進捗率 50%

- 各事業で計画を上回る進捗
- 引き続き海外メタノール事業や、トレードビジネスの堅調な推移を見込む
- 中東情勢などの影響を見極めるため、現時点では見通しを据え置く

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	210億円	220億円	300億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	12.1%	10.0%	12.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

化学事業

利益目標 中計 2026 220億円 Next Stage 300億円

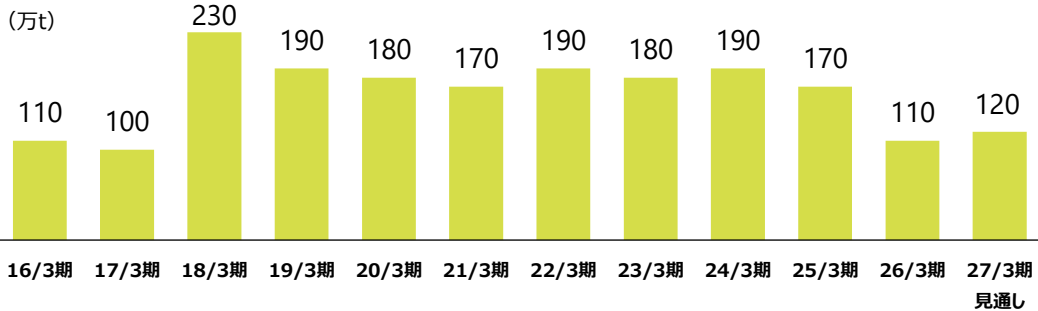
> 勝ち筋

先読み力と顧客基盤を活かしトレード機能を強靱化することで安定収益を創出
トレードで得た知見を基に投資を拡大し、トレードとの相乗効果で競争力を高める

> 取組状況

- 日本エイアンドエルの連結子会社化により、新たに製造事業に参入
- レアアースなど時代に先駆けて新たな供給源の確保といった多角化を促進
- 中東情勢の影響を受けたサプライチェーン分断下でも、トレード強靱化の取り組みが奏功

メタノール販売量推移



主要事業の状況（実力値ベース）

	取込 比率	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	事業内容	決算期
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計			
(億円)														
PT. Kaltim Methanol Industri	85%	11	10	9	1	31	35	—	—	—	35	+24	メタノールの製造・販売（インドネシア）	3月
日本エイアンドエル	66.5%	—	7	8	1	16	10	—	—	—	10	+10	SBRラテックスならびにABS樹脂等の製造・販売・研究開発	3月
双日プラネット	100%	2	2	4	5	13	7	—	—	—	7	+5	合成樹脂原料・製品等の貿易・販売	3月
Sojitz SOLVADIS GmbH	100%	5	2	2	1	10	12	—	—	—	12	+7	欧州地域における化学品の貿易・販売	3月
トレード（国内拠点）	—	13	19	29	21	82	35	—	—	—	35	+22	基礎化学品、機能化学品、環境関連商材 工業塩、レアアース、鉍産物等	—
トレード（海外拠点）	—	8	9	10	11	38	16	—	—	—	16	+8	海外現地法人における化学品全般・ 合成樹脂・鉍産物トレード事業	—
（一過性損益）		10	▲ 5	0	0	5	▲ 5	—	—	—	▲ 5	▲ 15		
本部 当期純利益		58	48	61	43	210	111	—	—	—	111	+53		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は26/6末時点のものを記載

業績サマリー

	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
(億円)			
売上総利益	131	111	▲20
販管費	▲ 81	▲ 76	+5
持分法投資損益	6	7	+1
当期純利益	35	27	▲8
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	3,341	3,481	+140

(当期純利益)

前年同期比増減要因

- 海外肥料事業での少雨影響による作付遅れに伴う取扱数量の減少等により減益

27/3期の見方
見通し 130億円 進捗率 21%

- 海外肥料事業や国内食品事業を中心とした利益貢献を見込む

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	85億円	130億円	200億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	6.1%	10.0%	12.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

東南アジア肥料事業

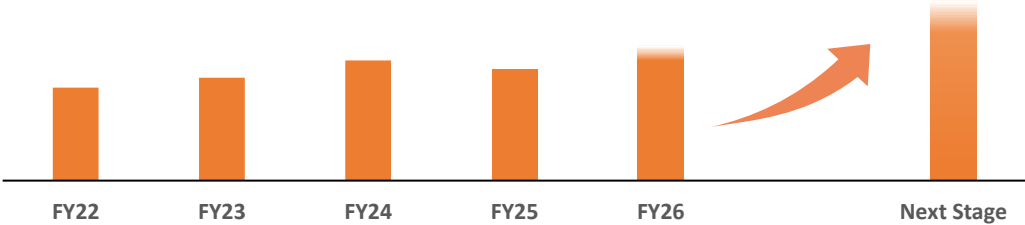
> 勝ち筋

タイ・フィリピン・ベトナムにおける高度化成肥料事業の競争優位を基盤に、既存事業の強化・成長および横展開により販売数量の増加を図る

> 取組状況

- 原料購買力の強化および製品品質・製造効率の向上
- データ活用による販売力強化および営業高度化

肥料販売数量推移（3社合計）



主要事業の状況（実力値ベース）

	取込 比率	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	事業内容	決算期	
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計				
(億円)															
肥料事業															
-Thai Central Chemical Public Company(TCCC)	95.3%	28	18	7	7	60	21	—	—	—	21	▲7	肥料の製造・販売（タイ）	3月	
-Atlas Fertilizer Corporation(AFC)	100%	5	2	1	2	10	2	—	—	—	2	▲3	肥料の製造・販売、 輸入肥料販売（フィリピン）	3月	
-Japan Vietnam Fertilizer Company(JVF)	75%	4	1	1	2	8	1	—	—	—	1	▲3	肥料の製造・販売（ベトナム）	3月	
双日建材	100%	3	3	3	1	10	2	—	—	—	2	▲1	総合建材販売	3月	
Saigon Paper	97.7%	▲ 1	▲ 1	1	1	0	0	—	—	—	0	+ 1	製紙事業（ベトナム）	12月	
双日食料	100%	7	7	6	5	25	10	—	—	—	10	+ 3	砂糖・糖化製品・乳製品・農畜水産物・ 加工食品・その他各種食料品の販売	3月	
(一過性損益)		0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	0			
本部 当期純利益		35	23	11	16	85	27	—	—	—	27	▲8			

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は、26/6末時点のものを記載
※ 当社主要関係会社のうち、右記の上場会社については、各社ホームページをご参照：フジ日本(株)（持分）

※ 肥料事業の特徴は以下の通り
TCCC：最終需要家のコメ農家は雨季が施肥タイミングとなり、上期に利益が偏重
AFC：主要作物のコメ、コーンは二期作のため、上期・下期共に肥料需要がある
JVF：主要作物のコメ、コーヒー、サトウキビ向けを中心に上期・下期共に肥料需要がある

業績サマリー

	25/6期 実績	26/6期 実績	前年同期比 増減
(億円)			
売上総利益	136	197	+61
販管費	▲ 122	▲ 133	▲ 11
持分法投資損益	3	6	+3
当期純利益	9	43	+34
	26/3末	26/6末	前期末比 増減
総資産	6,484	5,919	▲565

(当期純利益)

前年同期比増減要因

- 煙草取引及びベトナム業務用食品卸売事業における販売数量増加により増益

27/3期の見方
見通し 150億円 進捗率 29%

- 国内リテール事業および水産事業からの堅調な利益貢献を見込む
- 一部資産入替を見込む

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26計画	Next Stage
当期純利益	112億円	150億円	300億円
	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	3.6%	6.0%	8.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

ベトナムリテール事業	利益目標	中計 2026	30億円	Next Stage	100億円
> 勝ち筋	市場成長が見込まれる同領域において、卸売から総菜、倉庫事業などリテールバリューチェーンを強化				
> 取組状況	● 事業全般での抜本的なアプローチの見直しを継続中 ● ベトナム業務用食品卸売事業では、利益率改善等により業績が改善				
水産事業	利益目標	中計 2026	50億円	Next Stage	80億円
> 勝ち筋	調達・加工・販売機能を軸に国内事業の収益力を高めるとともに伸長する海外市場での取組を強化				
> 取組状況	● 国内水産卸売事業、水産加工販売事業は引き続き堅調に推移				

主要事業の状況（実力値ベース）

	(億円)	取込 比率	26/3期実績					27/3期実績					前年同期比	事業内容	決算期
			1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計			
ベトナムリテール事業		－	1	1	3	2	7	8	－	－	－	8	+7	食品・消費財卸売、ミニストップベトナム、 四温度帯物流、惣菜加工品製造 等	－
-卸売事業		－	3	2	3	3	11	9	－	－	－	9	+6	食品・消費財卸売	－
-小売事業		－	▲ 1	▲ 1	▲ 1	0	▲ 3	▲ 1	－	－	－	▲ 1	0	ミニストップベトナム	－
国内リテール事業		－	9	9	11	7	36	8	－	－	－	8	▲1	ロイヤルHD、双日ロイヤルインフライトケイタリン グ、JALUX等	－
水産事業		－	5	9	24	8	46	7	－	－	－	7	+2	マリンフーズ、トライ産業、大連翔祥、 双日ツナファーム鷹島、Sushi Avenue	－
-マリンフーズ		100%	2	7	13	2	24	2	－	－	－	2	0	水産食品加工会社	3月
-トライ産業		100%	2	3	5	3	13	3	－	－	－	3	+1	冷凍マグロ加工販売会社	3月
国内不動産事業		－	2	3	3	2	10	1	－	－	－	1	▲1	商業施設運営事業、バリューアップ事業等	－
双日ファッション		100%	2	2	1	1	6	2	－	－	－	2	0	綿・化繊繊維物等のプリント、 無地・先染等の企画加工卸売販売	3月
(一過性損益)			5	0	5	0	10	0	－	－	－	0	▲5		
本部 当期純利益			9	10	45	48	112	43	－	－	－	43	+34		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は、26/6末時点のものを記載
※ 当社主要関係会社のうち、右記の上場会社については、各社ホームページをご参照：ロイヤルホールディングス(株)（持分）



New way, New value